

北茨城市民病院総合診療科：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

<特徴>

保健・医療・介護の連携に向けて、包括的に医師の立場から健康にかかわる問題についての助言、臓器別の領域を超えた標準的な医療の提供ができる総合診療専門医を養成します。附属の診療所である家庭医療センターで、総合診療専門研修Ⅰを研修できるため、密な連携が取れます。院外研修として、学校医や北茨城コミュニティーケア研究会などに参画し、地域医療の重要性を現場から吸収できる環境を整えています。

<研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
総合診療科専門研修
総合診療科系Subspecialty専門研修

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	(備考)	
(1)地域枠(義務年限9年間)											
ケース1	初期研修	市民病院	A1または市民病院	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修をA群または市民病院で実施したケース。
			内科	小児科 救急科					(総合診療科専門医取得)		
ケース2	初期研修	市民病院	B1	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修を筑波大学附属病院で実施したケース。専門医プログラム中1年間で医師不足地域外となる。
			内科	小児科 救急科					(総合診療科専門医取得)		
			*Aについては、専攻医の希望により連携施設から整形外科、精神科、皮膚科を選択可能								

(2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修	市民病院	A1または市民病院	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修をA群または市民病院で実施したケース。
			内科	小児科 救急科					(総合診療科専門医取得)		
ケース2	初期研修	市民病院	B1	A2	A2	A5 (家庭医療)	*A	*A	北茨城市民病院を含む医師不足の地域中小病院(総合診療科) ※ 修学資金貸与者及び県との相談による。		内科研修を筑波大学附属病院で実施したケース。専門医プログラム中1年間で医師不足地域外となる。
			内科	小児科 救急科					(総合診療科専門医取得)		
			*Aについては、専攻医の希望により連携施設から整形外科、精神科、皮膚科を選択可能								

【総合診療科専門研修研修病院群】

基幹病院	北茨城市民病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	日立総合病院、茨城県立こころの医療センター、茨城県立こども病院、北茨城市民病院附属家庭医療センター
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、筑波大学(臨床疫学)
C群病院群(県外・海外病院)	—